

令和3（2021）年度 資源評価調査報告書

種名	シリヤケイカ	対象水域	瀬戸内海
担当機関名	水産資源研究所 底魚資源部、兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター、岡山県農林水産総合センター水産研究所、徳島県農林水産総合技術支援センター、香川県水産試験場		

1. 調査の概要

瀬戸内海の各府県において、本種に関する漁業の概要、生物学的特性、過去の漁獲量やCPUEならびに現在実施されている各種漁獲制限などの情報収集を行い、もしくは調査を開始した。詳細については以下の通り：

兵庫：兵庫県海域における漁獲量データの収集を開始した。

岡山：標本漁協の標本船における小型底びき網漁業による漁獲量（他のコウイカ類の混入あり）、CPUEデータの収集を開始した。

徳島：播磨灘及び紀伊水道の標本漁協における小型底びき網による2013年及び2005年以降の漁獲量とCPUEデータを収集した。

香川：備讃瀬戸海域の漁連集荷場において、その他の網漁業（魚込網）による漁獲量データの収集を開始した。

2. 漁業の概要

瀬戸内海の各府県各海域における本種を対象とした漁業の概要について、各府県単位で記述した。詳細については以下の通り：

兵庫：主に小型底びき網で漁獲される。

岡山：主に小型底びき網で漁獲される。その他、小型定置網漁業でも漁獲されている。

徳島：主に小型定置網で漁獲される。

香川：主に小型底びき網により漁獲される。その他の網漁業（魚込網）でも漁獲されている。

3. 生物学的特性

本種の生物学的特性について、項目毎に記述した。詳細については以下の通り：

(1) 分布・回遊：

・東北地方南部以南、西太平洋温・熱帯海域の陸棚域帯に分布する（奥村 2017）。瀬戸内海西部域における回遊については上田（1985）により報告されている。宇和海及び伊予灘西岸の沖合域で越冬した親イカは、3～4月上旬に西部瀬戸内海奥部の周防灘、備後芸予瀬戸から燧灘にむけて、産卵回遊を開始する。産卵場へは分散的に移動し、4月中旬から5月に各海域7～10 mの浅海に到達し産卵する。6～8月ごろに孵化した稚仔は

浅海域で発育したのち、沖合 10 m 以深に移動、その後は 10 月下旬に越冬回遊を開始し、宇和海及び伊予灘西岸に到達する。

(2) 年齢・成長：

寿命は 1 年。6～8 月頃にふ化した稚仔は 9 月に 2.0～6.5 cm、10 月に 3.0～11.0 cm、12 月までに 7.0～14.0 cm に成長し、その後の成長は鈍化する（上田 1985）。

(3) 成熟・産卵：

・産卵期は 4～7 月で多回産卵を行う（上田 1985）。

(4) 食性：

・外套長 5 cm 以下でアミ類、5 cm 以上ではエビ・カニ類、エビジャコ類、カイアシ類、魚類を捕食する（岡村・山田 1986）。

4. 資源状態

瀬戸内海の各府県各海域における本種の資源状態を示す各種指標値の推移や資源の水準・動向判断について、各府県・海域毎に記述した。十分な情報が得られていない海域については、指標値の推移のみを示すか、資源判断を行わずにその旨を記載した：

- ・兵庫県海域についてはデータの収集を始めたばかりであり、現段階では資源状態の判断には至らない。
- ・岡山県海域についてはデータの収集を始めたばかりであり（図1）、現段階では資源状態の判断には至らない。
- ・徳島県標本漁協のCPUEの推移から資源水準（0～最大を3分割）及び動向（直近5年間）を判断すると、播磨灘は低位・横ばい、紀伊水道は低位・減少と判断する（図2, 3）。
- ・香川県ではデータの収集を始めたばかりであり、現段階では資源状態の判断には至らない。

5. 資源回復などに関するコメント

瀬戸内海の各府県各海域における本種の漁業に関連した各種規制措置などについて記載した：

- ・岡山県では漁業者の自主的な取り組みとして、小型底びき網漁業の袋網の目合いの拡大措置を講じている。

引用文献

- 岡村収・山田梅芳.(1986). 東シナ海・黄海のさかな = Fishes of the East China Sea and the Yellow Sea, 水産庁西海区水産研究所.
- 奥谷喬司 (編・著)(2017) 日本近海産貝類図鑑. 東海大学出版部 pp.1133

上田和夫 (1985). シリヤケイカの成長, 成熟及び移動生態に関する研究 南西海区水産研究所研究報告, **19**, 1-42.

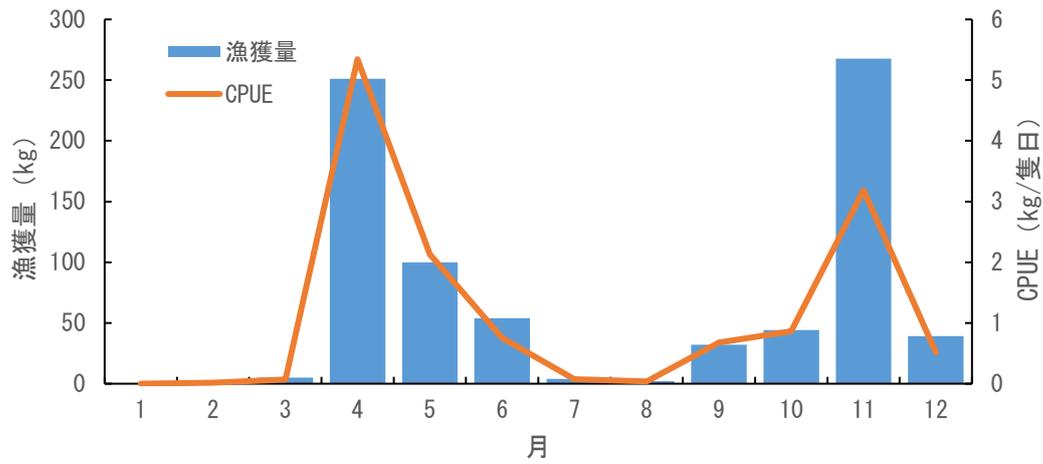


図 1. 岡山県の東部海域における標本漁協の標本船（8 隻）によるシリヤケイカの月別の漁獲量ならびに CPUE

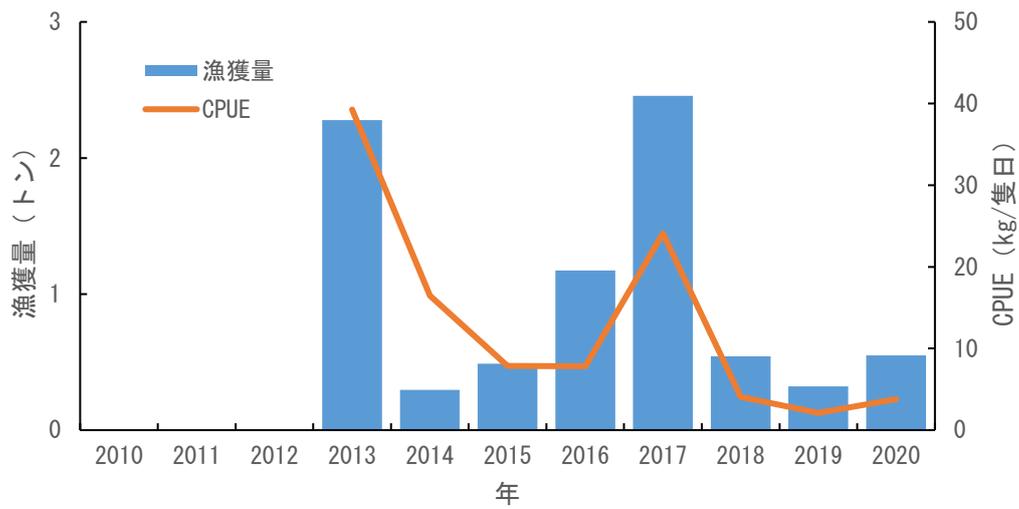


図 2. 徳島県播磨灘における標本漁協におけるシリヤケイカの漁獲量ならびに CPUE の経年変動

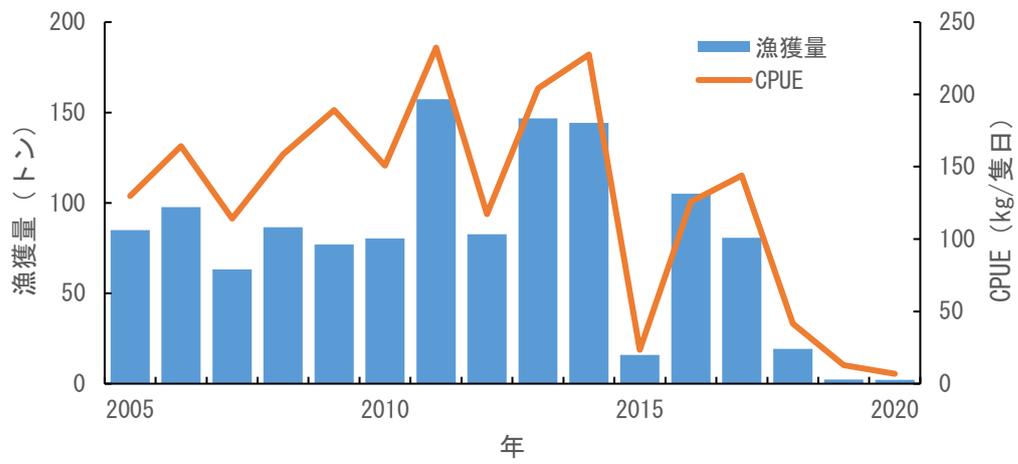


図 3. 徳島県紀伊水道における標本漁協におけるシリヤケイカの漁獲量ならびに CPUE の経年変動

表1 徳島県の標本漁協におけるシリヤケイカ漁獲量*の年変化

県名	徳島県	
	標本漁協（播磨灘）	標本漁協（紀伊水道）
漁協名		
漁法	小型底びき網	小型底びき網
2005		84889
2006		97585
2007		63314
2008		86501
2009		77015
2010		80329
2011		157299
2012		82726
2013	2278	146822
2014	296	144281
2015	488	15972
2016	1172	105014
2017	2458	80643
2018	541	19339
2019	323	2347
2020	550	2148

* 漁獲量：単位（kg）

表2 徳島県の標本漁協におけるシリヤケイカCPUEの年変化

県名	徳島県	
	標本漁協（播磨灘）	標本漁協（紀伊水道）
漁協名		
漁法	小型底びき網	小型底びき網
2005		129.80
2006		164.28
2007		114.08
2008		158.43
2009		189.23
2010		150.71
2011		232.35
2012		117.18
2013	39.27	204.20
2014	16.47	227.57
2015	7.87	23.42
2016	7.81	125.77
2017	24.10	144.01
2018	4.07	41.59
2019	2.11	12.83
2020	3.79	6.84